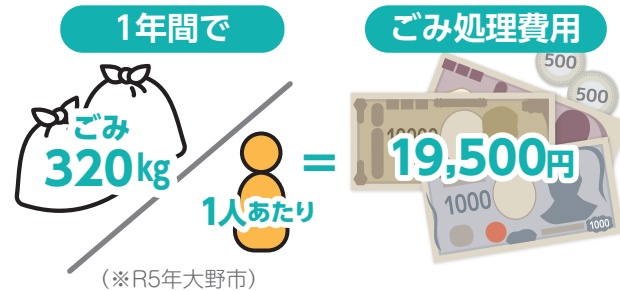


ごみの減量・資源化のうわさの真相

ごみを焼却するのに
高いお金払えないよ！

大野市のごみについて

ビュークリーンおくえつの焼却施設は高い温度でごみを燃やすため、ダイオキシンは発生しませんし、すべて灰にならず、リサイクルできるスラグという物質になります。しかし、高温にするために大変な量の燃料を使用します。燃料を使用するとお金がかかりますし、CO₂もたくさん発生します。ごみ処理には収集のための費用、処理するための費用がかかっています。自分のお財布から出るお金と違って、ごみ処理に係るお金についてはなかなか現実味がないかもしれませんが、試算すると1年間で約6億円かかっており、一人当たり19,500円負担していることとなります。資源化できるごみをリサイクルに回すことでごみを減らすことが出来れば、一人当たりのごみの処分費用も減ります。



ごみのキホンは3R

リサイクルにはお金がかかり、かえってエネルギーの無駄、という意見も聞かれます。例えばペットボトルのリサイクルの場合、キャップやラベルを処理施設で取り除くための人件費が多くなります。しかし、エネルギー消費やCO₂排出量が多いわけではありません。分別したものが、再生され、新たに使用する資源が節約されることにより、リデュース (Reduce〈発生抑制〉) にもなります。



できてるかな？ 3R

▶リデュース (Reduce:発生抑制)

使い捨ての容器を使用しない、詰め替えのシャンプーを購入するなど、「ごみの排出を抑える」こと。

▶リユース (Reuse:再使用)

着なくなった服や道具を誰かに譲るなど、「一度使ったものを何度も繰り返し使用する」こと。制服・体操服はバザーに回したり、不要になった趣味のものを知人にゆずったりして活用しましょう。

▶リサイクル (Recycle:再生利用)

壊れて使えなくなってしまったものを「資源として再利用する」こと。



市の取り組み

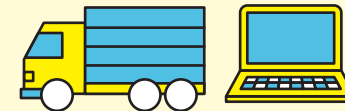
資源有効利用促進事業補助金 (古紙回収)

資源回収とは、家庭から出される大切な紙資源を自治会や育成会などの地域団体が日時や場所を決めて回収し、リサイクル業者に引き渡す活動です。この活動を行う団体に対し、資源の回収量に応じ補助金を交付します。
問合せ先:環境・水循環課



不要なパソコンの処分は宅配便の無料回収が便利です

大野市はリネットジャパンリサイクル株式会社と協定を締結しました。パソコンと併せて使用済み小型家電の回収も依頼することができます。
問合せ先:環境・水循環課



家財の整理は「おいくら」でお財布にも地球にもやさしく

大野市は「おいくら」という売り手と買い手のマッチングサービスを行うマーケットエンタープライズ株式会社と協定を締結しました。不要となった家財の情報を「おいくら」というサイトで入力するだけで買い手から査定結果が提示され、買い手を選択すると買取成立となります。
問合せ先:環境・水循環課

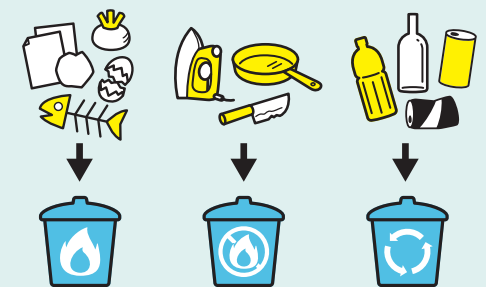
おいくら?



市からのお願い

分別を徹底しましょう

家庭から出たごみはルールに従ってきちんと分別すれば、ごみの減量化に加え、ごみが資源に生まれ変わります。ごみの減量化が進めば、ごみを燃やす燃料が少なく済み、CO₂削減にもつながります。ごみの分別にご協力をお願いします。



みんなができる

脱炭素アクション

3Rを心がけよう

- マイボトル、マイバッグの利用、分別などにより容器包装プラスチック等のごみを削減

節約額 3,784 (円/年)

CO₂削減量 28.8 (kg-CO₂/世帯)



雑がみはリサイクルへ

大野市の一般ごみにはリサイクル可能な紙類がまだまだ入っています。名刺サイズ以上の紙はすべてリサイクル可能です。紙袋に入れたり、紙ひもなどでしばったりして「その他の紙」として差しましょう。

例:チラシ、パンフレット
包装紙、紙箱
封筒・包装紙など

